

和算草書

関流

算法草術

美分

書九

三奴

708

101



門 二 2
號
卷

中

關流算法草術卷之十一

關流

差分中編本

浪九百六拾多と以て大麥小麦石穀等一一く
買て但去石に付大麥三斗七多小麦三斗
七多也等一一石穀何れと向

三斗云 各拾六石

大麥代浪 四百六多
小麦代浪 八百六拾多

惣代浪の形と身とと一石の如し

想代浪
の飛

大麦を石代拾七匁	小麦を石代二拾七匁
大麦代浪	小麦代浪

差二匁
のこ

入想代
浪の飛

大麦を石代小麦を石代二拾七匁	想代浪九百六拾匁
----------------	----------

本洲之想代浪九百六拾匁と大麦を石の代七匁小麦を石の代七匁合々六拾と以て除く等石代七匁と均す
 新免合々二拾六匁は是れ石代七匁と均す
 新免合々二拾六匁は是れ石代七匁と均す

各何種とも

言ふ 免式拾六匁 新免拾七匁

想代浪の飛と均すこと九のこ

想代浪の飛

二匁四匁差二 免式拾六匁	二匁四匁差二 新免拾七匁
免式拾六匁	新免拾七匁
下 の 差	下 の 差
二匁四匁差二 拾六匁	二匁四匁差二 拾七匁
拾六匁	拾七匁
二匁	二匁

在思代浪の飛と均す新免の是れ石代七匁の同す新免合々九匁

七拾七拾と以て想豆粒と減して餘六拾六拾武豆は是の元武

の同る免 け豆

れ粒と免 粒入

形下の如し 拾豆

拾豆	粒入	け豆
----	----	----

本州之諸免令六拾と免粒の武と兼して七拾と也。

以て想豆粒百武拾と減して餘六拾と武豆は是の元二の

同る免の粒と武豆は是の元二と以て除く免六拾と

以て以て諸免令六拾と減して餘六拾と也。

大豆小豆各々一入百武拾八俵は代浪令々拾八貫二百

各才り但し依り付大豆は武拾八俵小豆は武拾二俵武八

俵と依り依り依り同

三貫六 小豆二百俵 大豆武百武拾八俵

想代浪の形と身ととたのと

想代浪の形

大豆一俵二十五俵	大豆代浪
小豆一俵二十二俵	小豆代浪

妻の 下の 畚の 出と

大豆一俵代廿七俵	拾二
大豆一俵代廿五俵	貫武
大豆一俵代廿二俵	百俵

又玄の白米

三拾七石の

形下の松

新刊

玄の白米石教

三石武斗六斗

武拾七石七斗六斗

玄の黒米白米の和三拾七石

新刊

衣の裏形小よりして黒米白米共の石教^{三拾七石}と並着

^{七斗}と兼して^{武拾七石}と併り以て其の白米^{三拾七石}と減

して併^{三石武斗六斗}と耗米^{六斗}の同く之の白米の石教と

以其形下の

と

新刊
玄の白米石教
三石武斗六斗

中洲玄黒米白米共の石教^{三拾七石}と並着以て米^{七斗}

と兼して^{武拾七石}と併り以て其の白米^{三拾七石}と減

て併^{三石武斗六斗}と耗米の同く之の白米石教と併り以て

と別おき石と並着以て米^{七斗}と減して併

^{六斗}と耗米と併り以て其の白米^{三拾七石}

と併

三斗八斗俵と三斗七斗俵と合して六百八拾俵は石

教併り武百。入石各俵教何程と何

三斗 六百八拾俵 小四百俵

短衣教式百。

八石の形と

母なることト

のこし

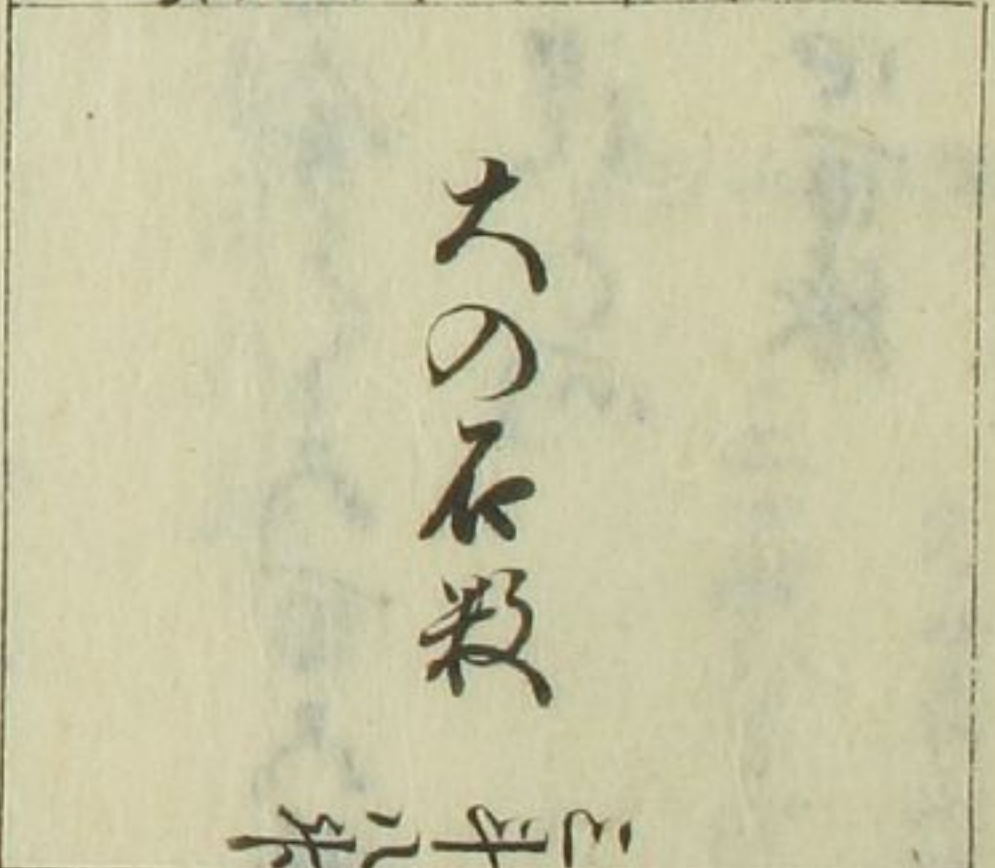
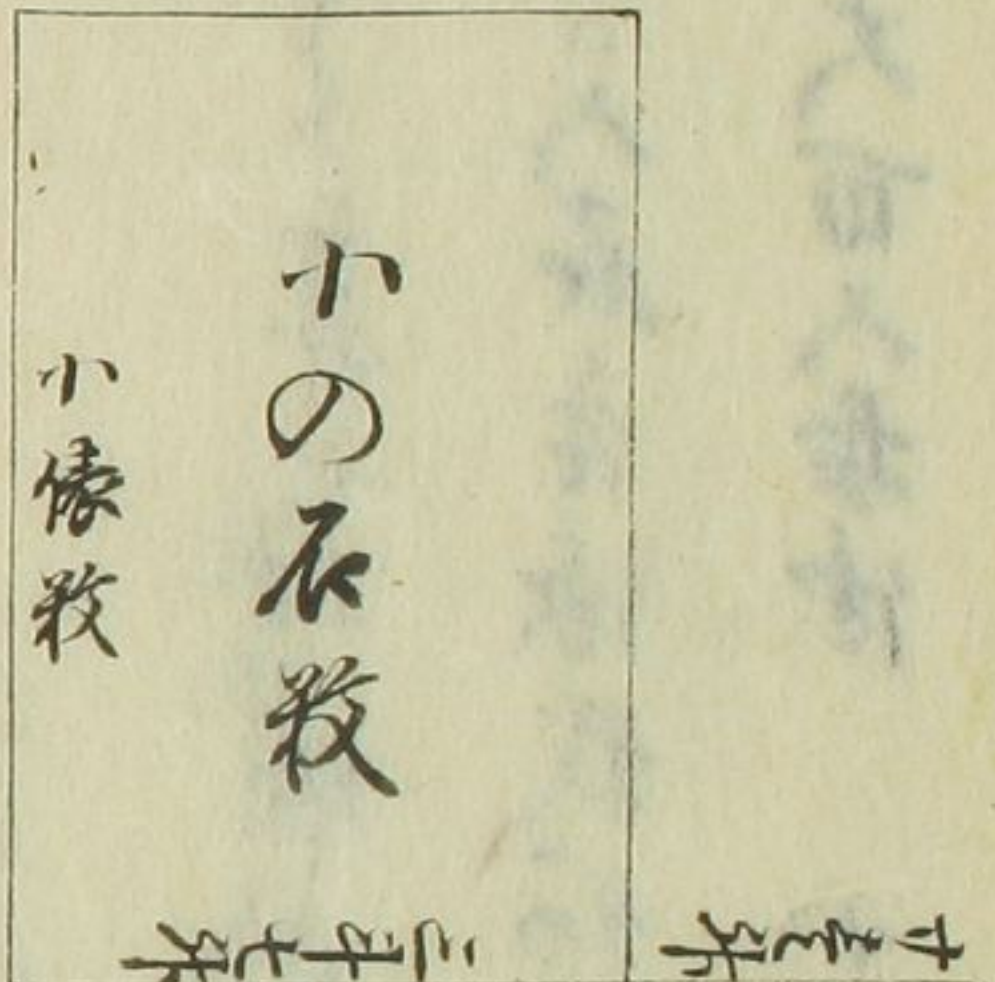
又短衣教式

百。八石の量

形下の量乃

こし

十石



量と九

の量乃

こし

小俵教

小俵教



式百。三石六斗

大小量の俵教六石六斗

衣の量形とるこく大六俵教六石六斗の入七斗とるこし

て式百。三石六斗とるこく短衣教六石と減して残り六斗と

ゆる大六八の量の同く大の俵教

とる其形下の量のこし



本洲云々俵教六石六斗とるこく大の入七斗とるこし

斗とゆるこく其の石教式百。六石と減して残り六斗と大六

八の量六斗と大の教俵とに実とる 別六八の入

八斗の月六の入七斗と減して残り六斗とるこく実とる

大の俵教百六斗とるこし

甲乙の業上有甲乙目六に百字しを目六三百六斗字

と字に乙を先くゝ字に七拾日たり是く
 甲乙相並くゝ字と後幾日おして甲乙の字を字
 殺同殺おれりて同

言ふ 四百九拾日

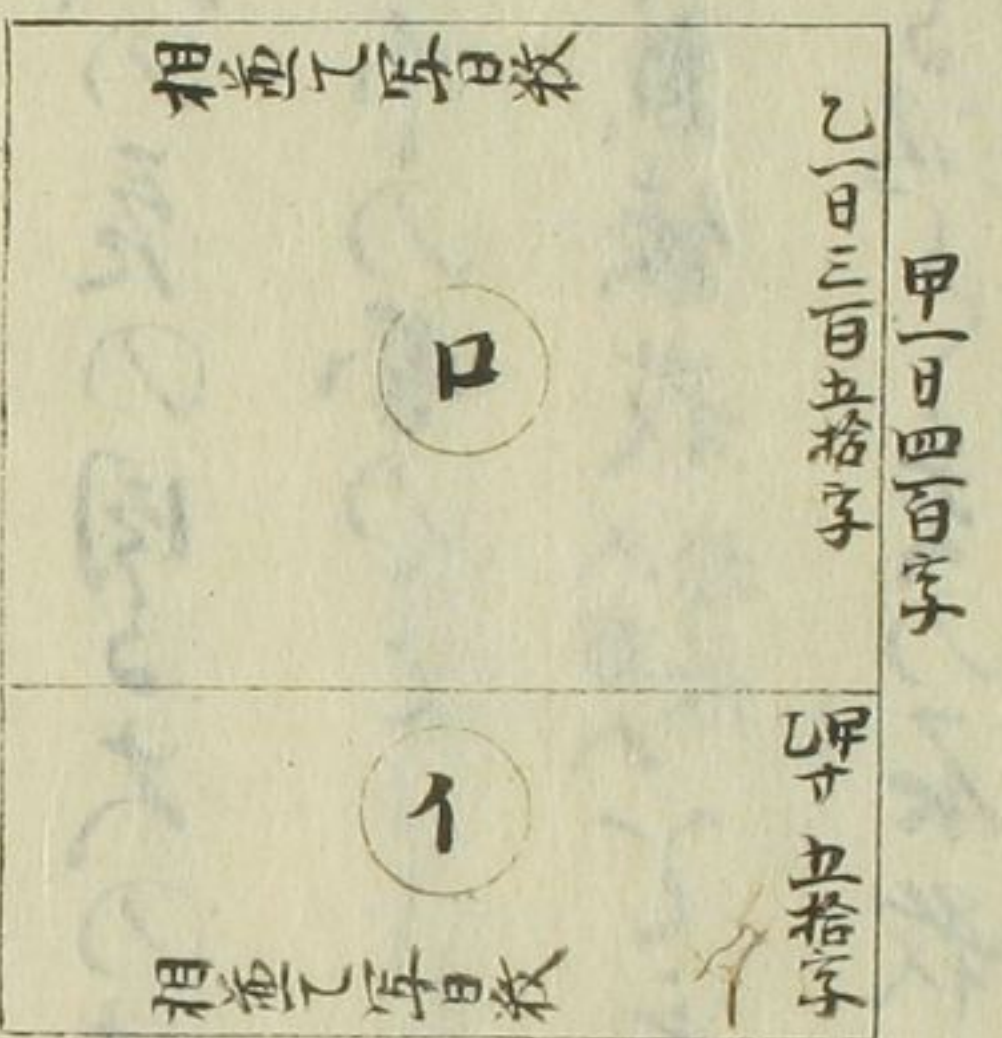
甲お依

く見る

想字殺

の形下

の形



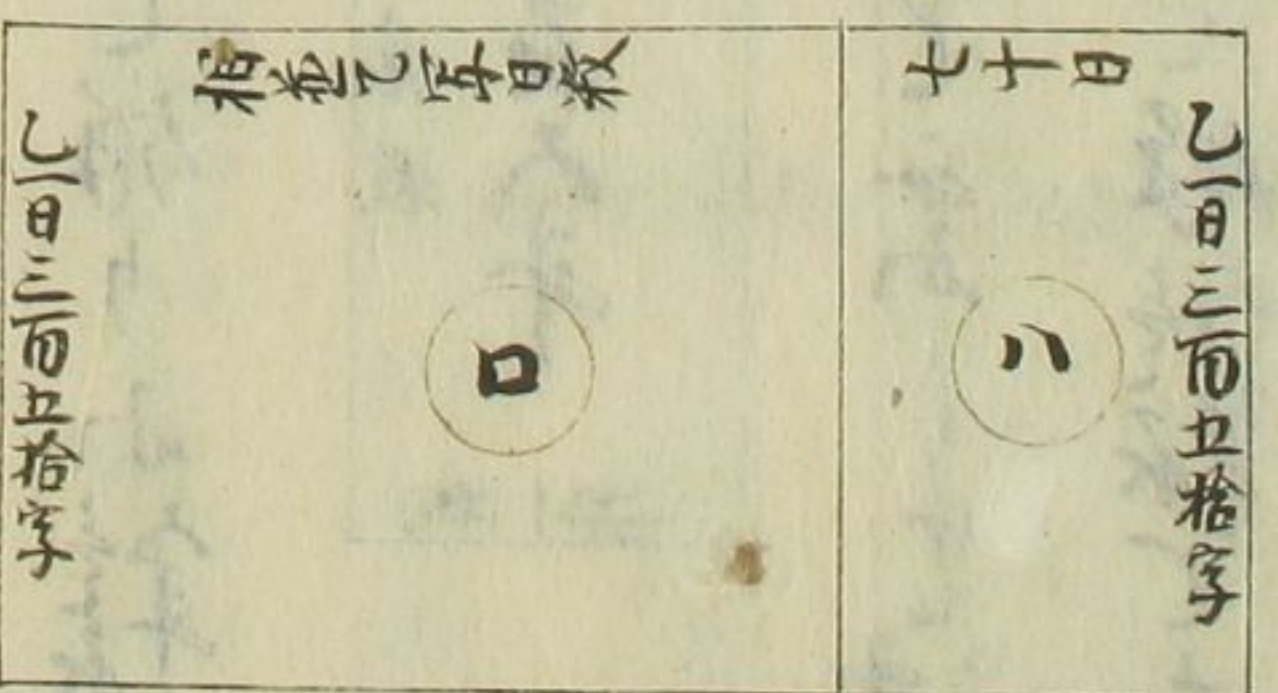
入しお

依見え

想字

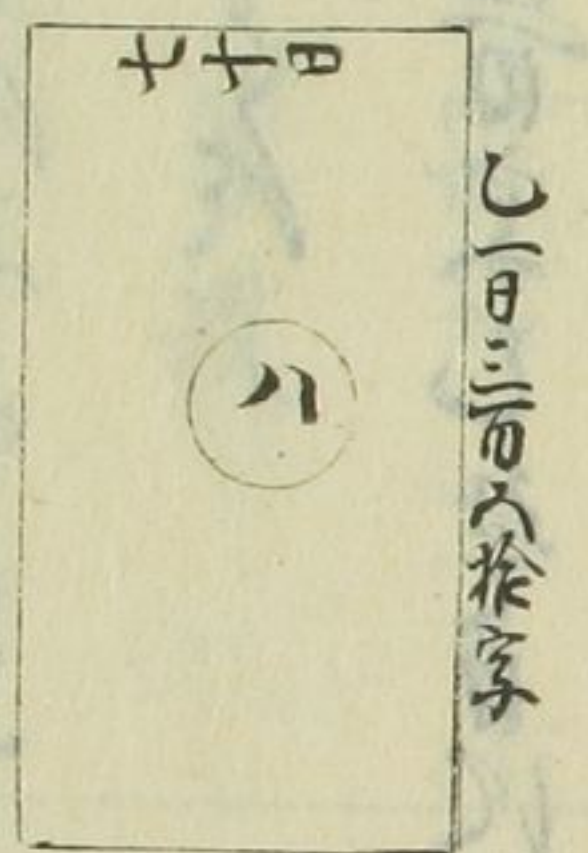
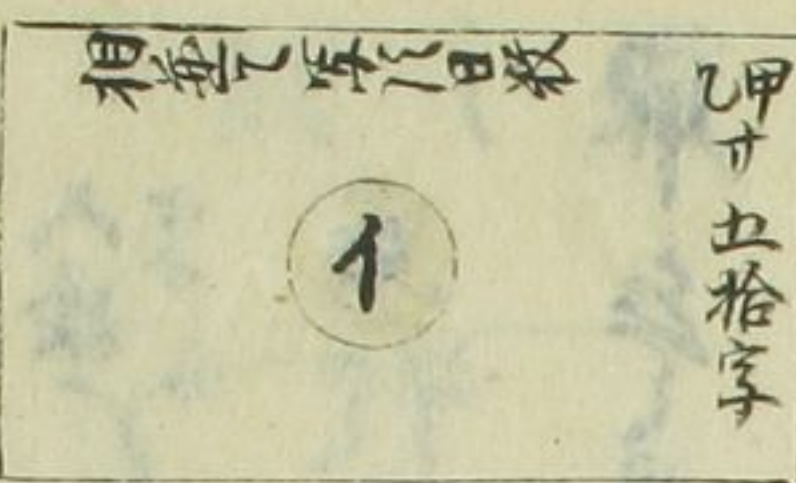
殺の形

お下



乙 實

在甲實も乙實も皆想字殺の形おして同殺たり故お
 乙實の内口積と減はる降りハ積と甲實の内口
 積と減はる降りイ積と必同殺たり其形たのこ



在イ積とハ積と同殺たり故おハ積と来く
 イ積とえくゝ実とて甲乙二日の字の差とみく除く
 おまゝく字に日殺と降る

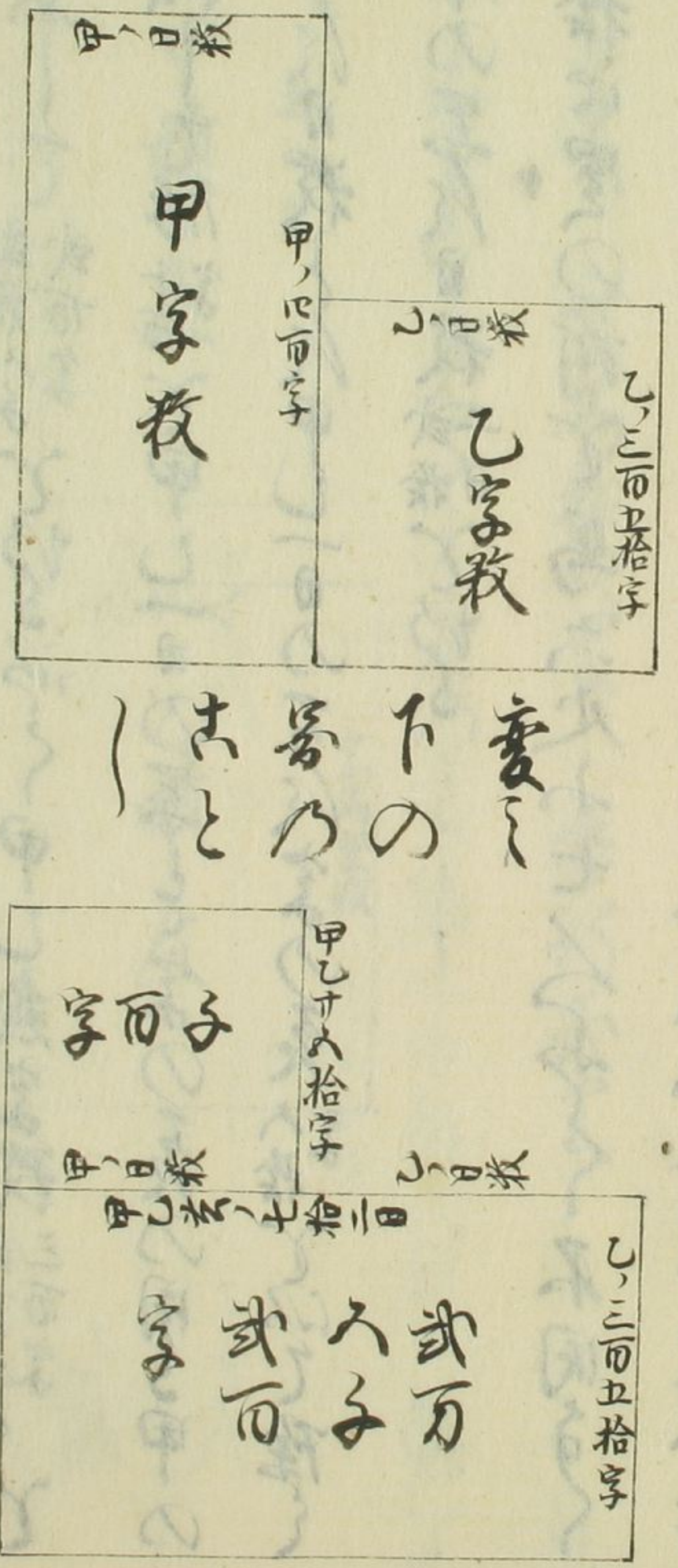
中洲云しの先小寫と日教七拾とをし一日の字教
二百八拾字と云して二百八拾字と成る実と云 別小甲の一日
 の字教二百八拾字と云内し一日の字教二百八拾字と減して存
二百八拾字と法と云ふと云と除く二百九拾日と得る所お並て
 写し日教と云

甲と日小寫字しと日二百八拾字と云して甲
 しと云の字と日教七拾二日け字教二百八拾字と云
 各字と日教二百八拾字と云

云々 甲武拾武日 し六拾日

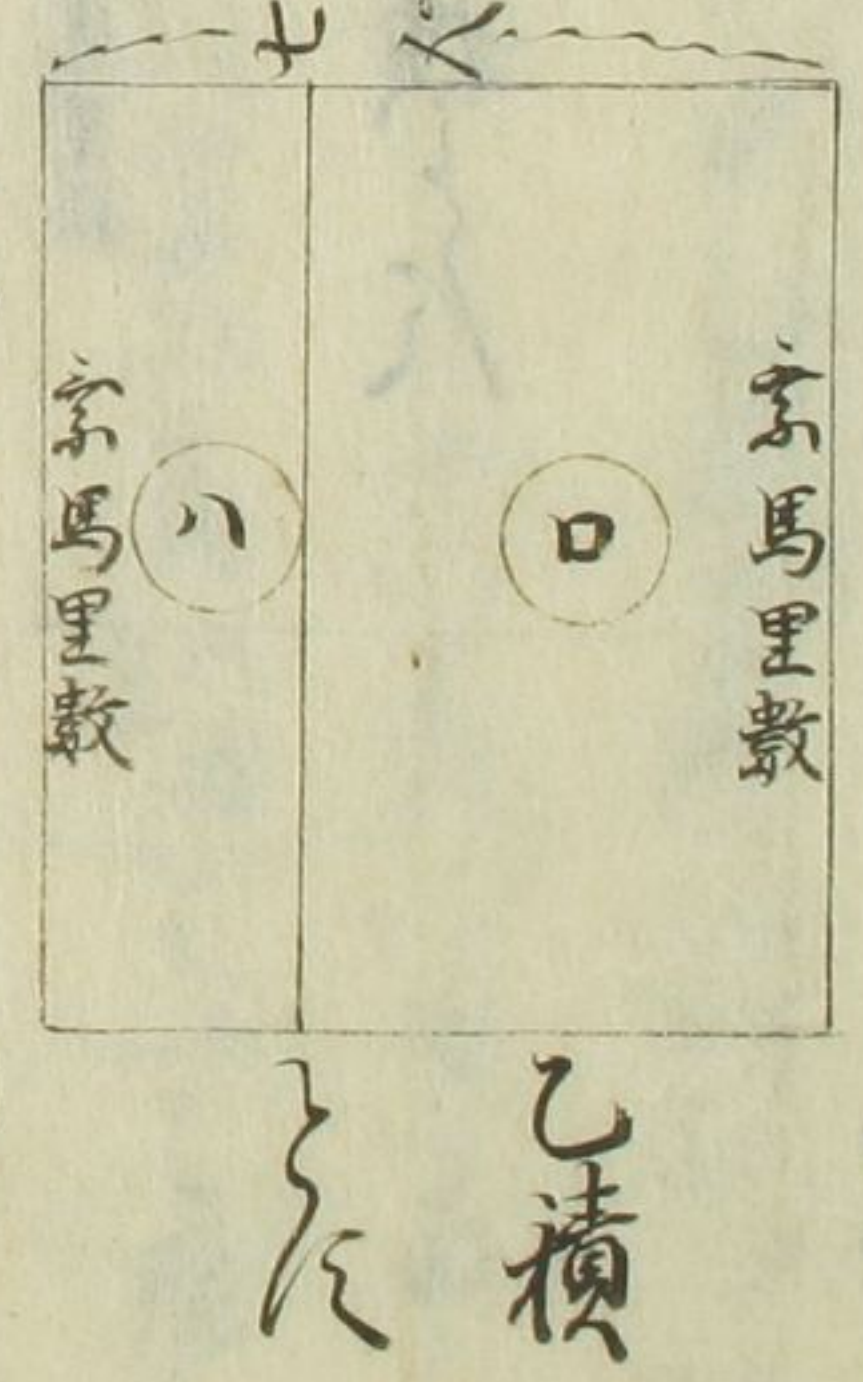
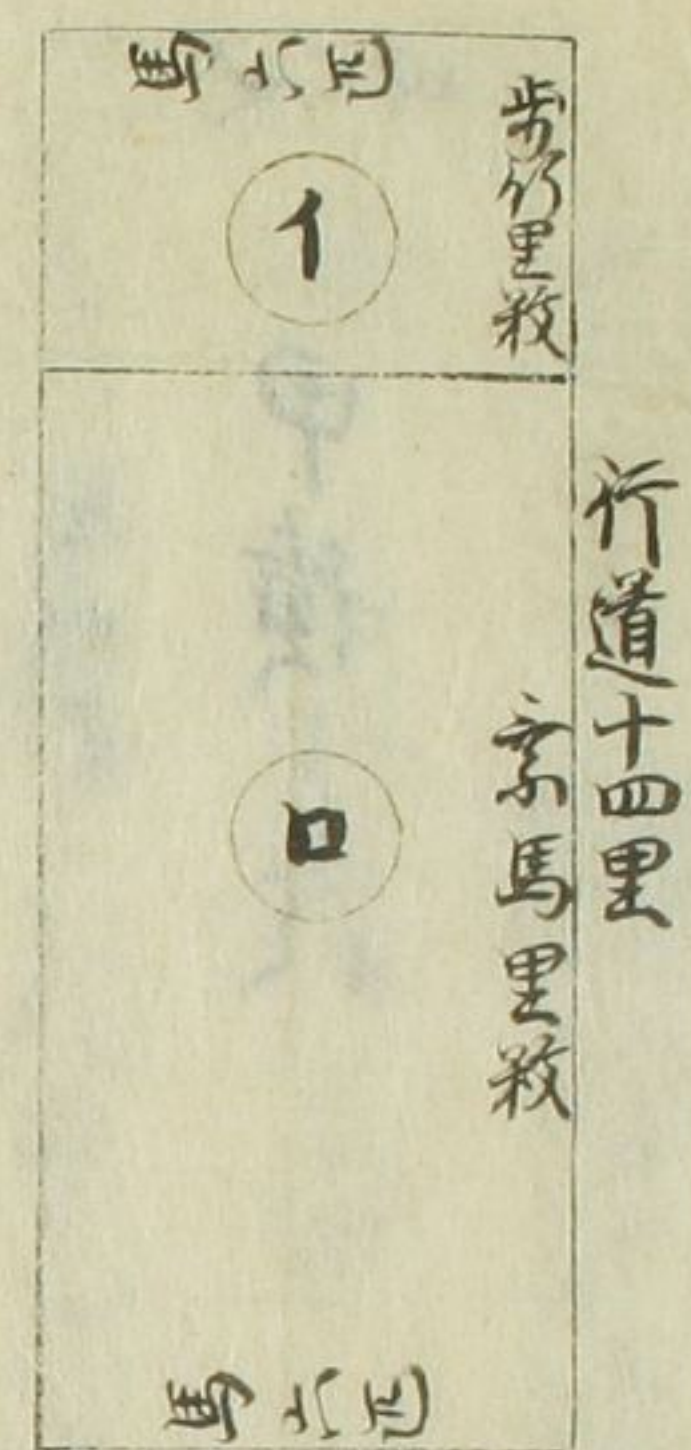
想字教の形と身とと云ること

想字教の形



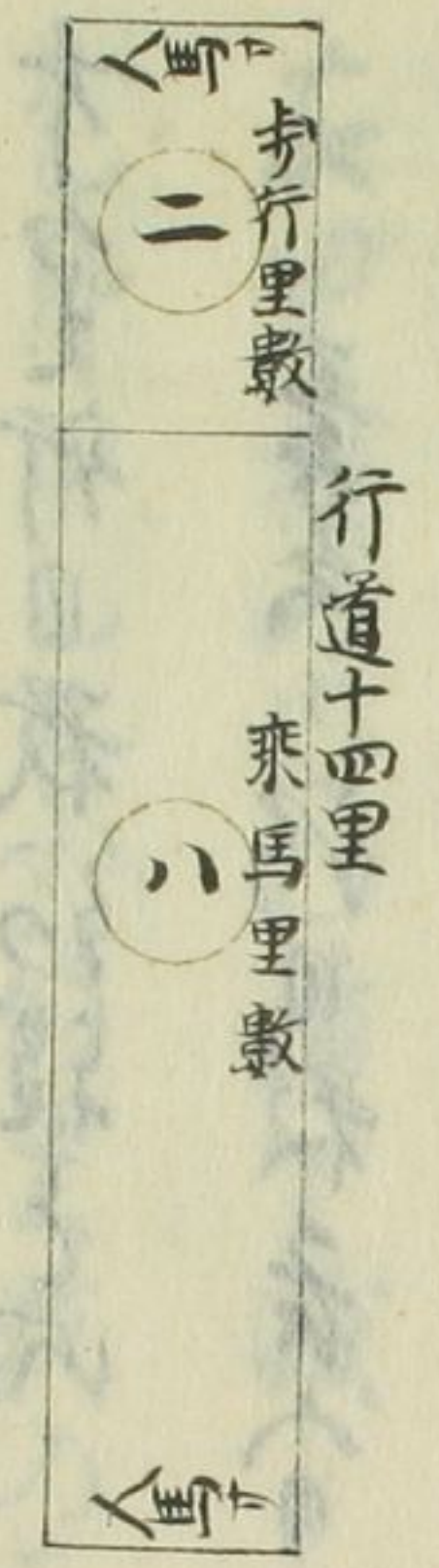
右の重形と云く去の日教七拾小し一日の字二百八拾字と
 云して二百八拾字と成る実と云 別小甲の一日
 の字教二百八拾字と云内し一日の字教二百八拾字と減して存
二百八拾字と法と云ふと云と除く二百九拾日と得る所お並て
 写し日教と云

本術の馬也と云行道理に云して此れ拾はる人
 殺すに陰く^拾と^式と^里と^馬の里殺とん
 又別歩行里殺を求る解たのこし

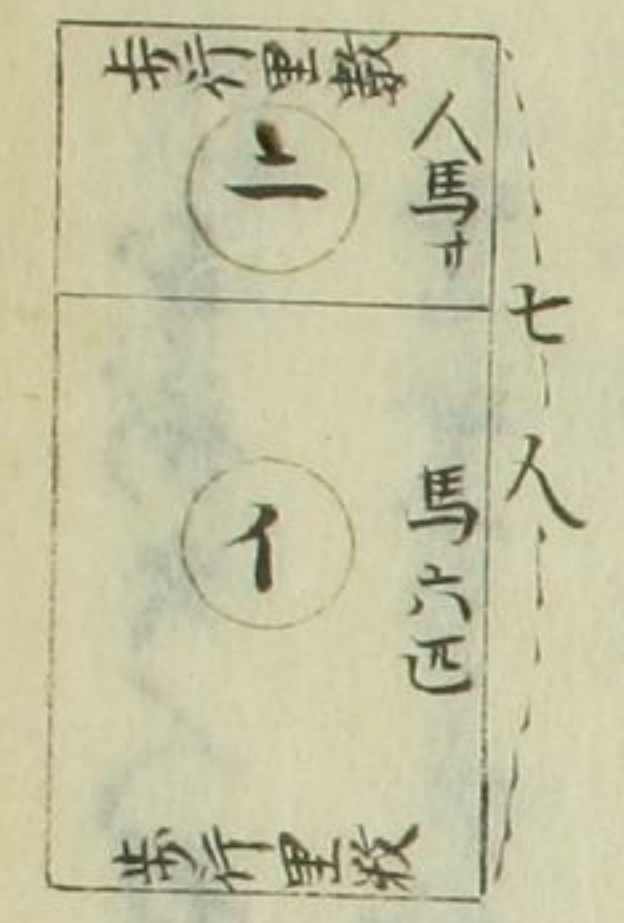


右甲積とし積と固り同殺也故小甲積の内口積と
 減して餘一積とし積の内口積と減して餘り八積
 とも同殺はること知る

又別歩行道理^拾は^馬六^匹人殺と馬殺との長と云して
 得る形たのこし



け形と云く一積と八積と八固り同殺はること
 知る越八積と一積小変してはるとたの長の



本洲之人殺七の馬殺六と減して餘一不行道拾里
 と云して拾里とある人殺の周より歩行里殺と云人
 殺七を除く歩行里殺或里とある

甲を日小行幸拾七里しを日小行と拾三里と
 甲乙同日同刻に出く甲を日小行増と云拾里
 才と行日殺の程と同

答云 行日殺各八日

乙の行里殺の
 飛下の一
 乙積と云

殺	乙、拾三里
---	-------

甲の行里殺の
 飛下の一
 甲十七里
 甲廿六里
 甲積と云

殺	甲、十七里	甲、廿六里
積	甲、乙積	三十里
殺		甲積と云

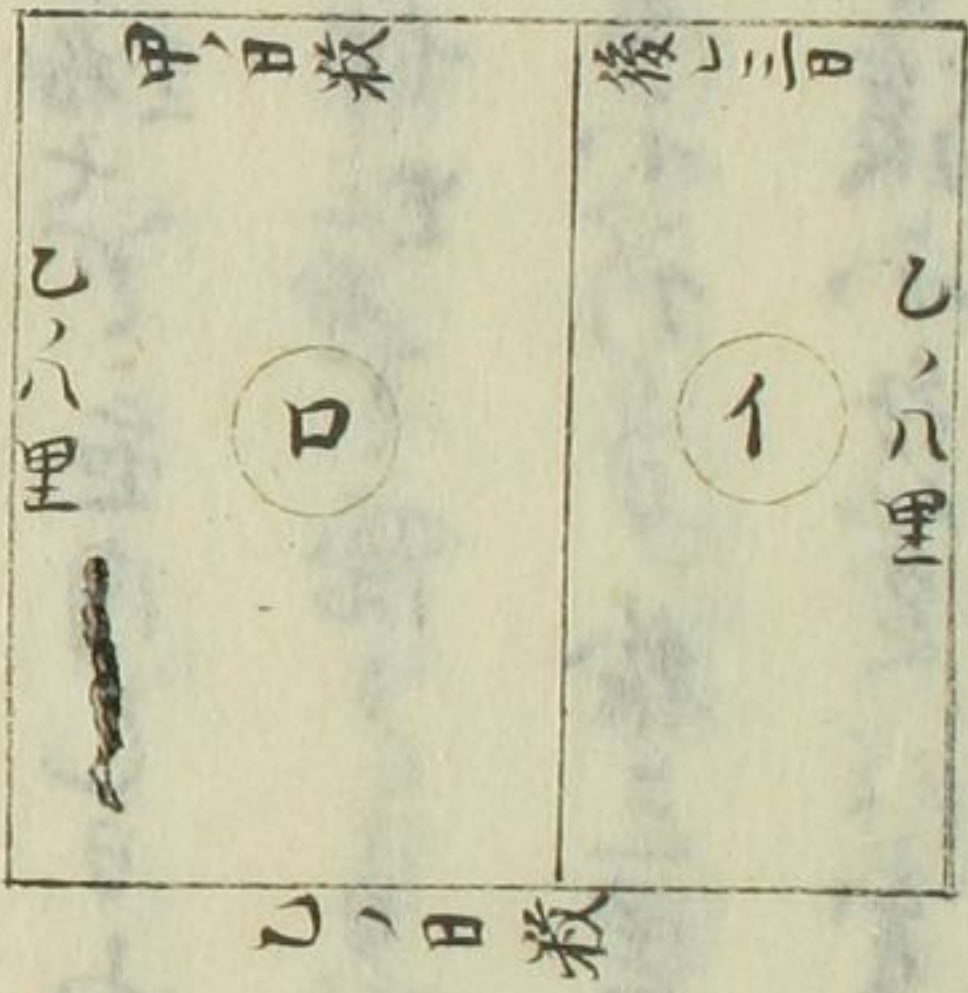
在甲積の内乙積と減して餘り八甲の行増拾里と
 是所甲乙日小行里殺の長の周より日殺と

本洲を甲日小行拾七と並内乙日小行拾三と減して
 餘六と云く行増拾三と除く日殺八とある

甲乙の人有甲を日小行と拾三里しを日に行幸
 八里甲を日小行後不殺里と云日小行して乙不道
 及ふと同

第六 甲は日八分

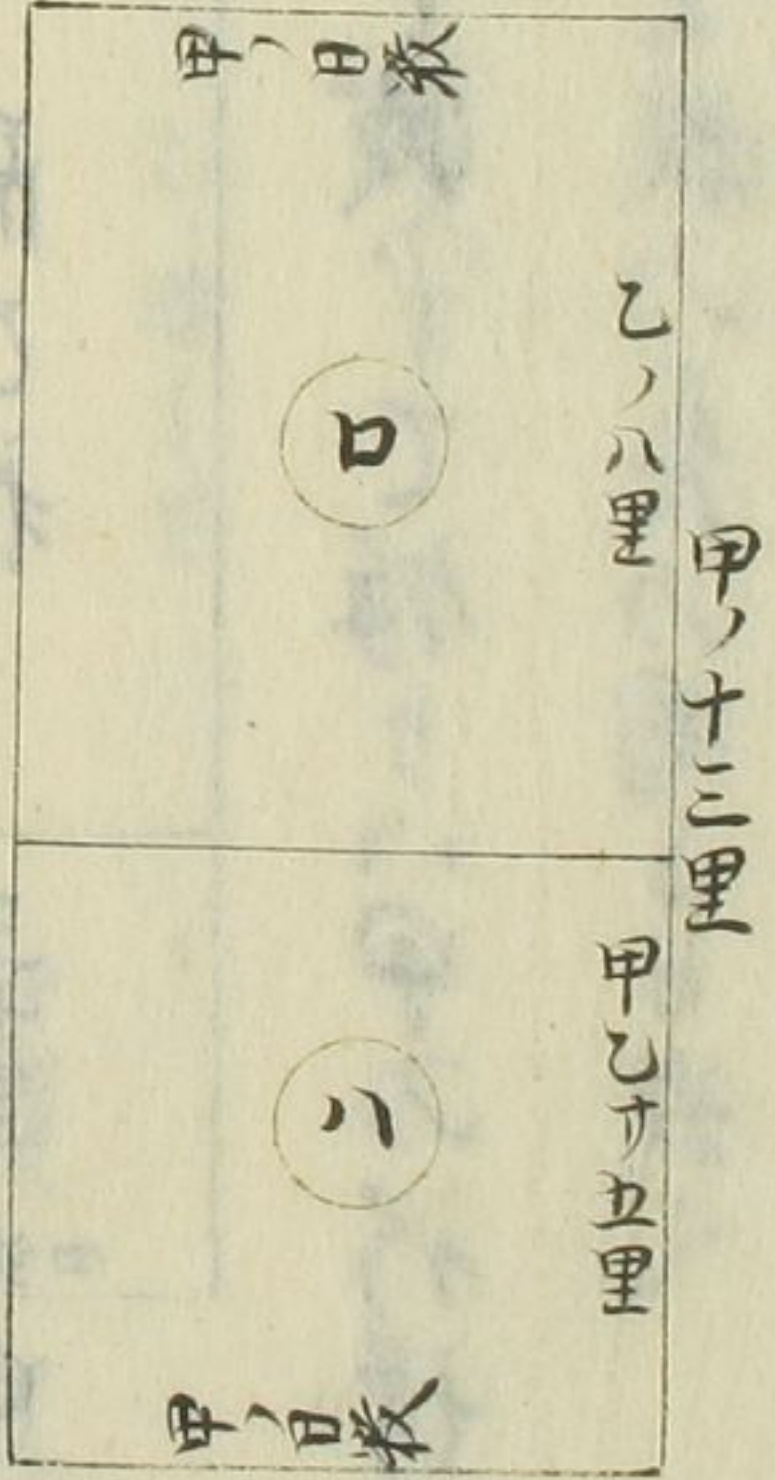
乙小依く得か
息里教の形下
乃こー



乙積とん

又甲小依く得か

息里教の形下
の番乃こー

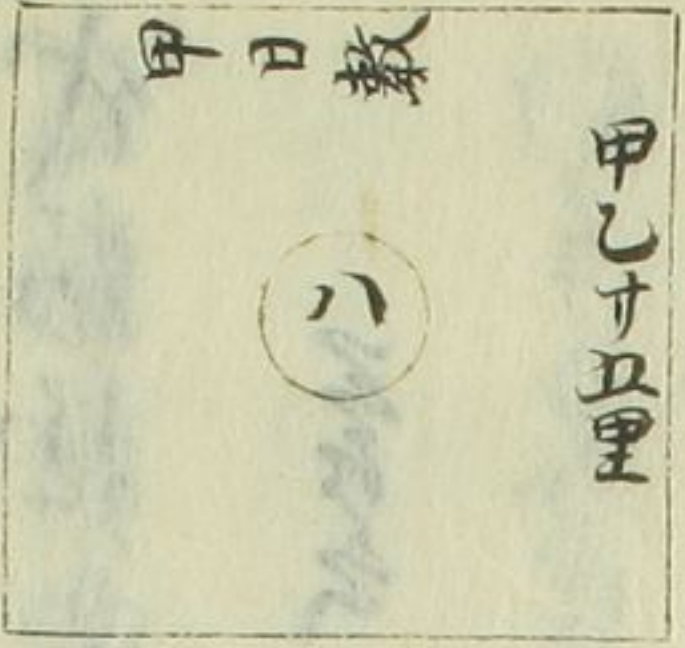


甲積とん

右甲積乙積固り同粒と故小甲積の内口積と減し

て解ハ積と乙積の内口積と減して解イ積とも

亦必同粒也其形たのこー



右イ積とハ積と同粒と故イ積と求く即ハ積

とんこ甲乙日行の表とんこ除く甲日教とん

本術云後日教とんこ乙の一日行里とんこ求して

得か実とん 別小甲日小行里の月乙日小行

衣の着おろしをてい積と来くし所い積と裡て結納
 天殺の着お除く袖を人の代銀とす

巾着を記と結とを結入んとて糸して縫いとす

実とん 別お袖天の肉結入んとて織して解くと

法とん以て実と除く袖を人の代銀とす

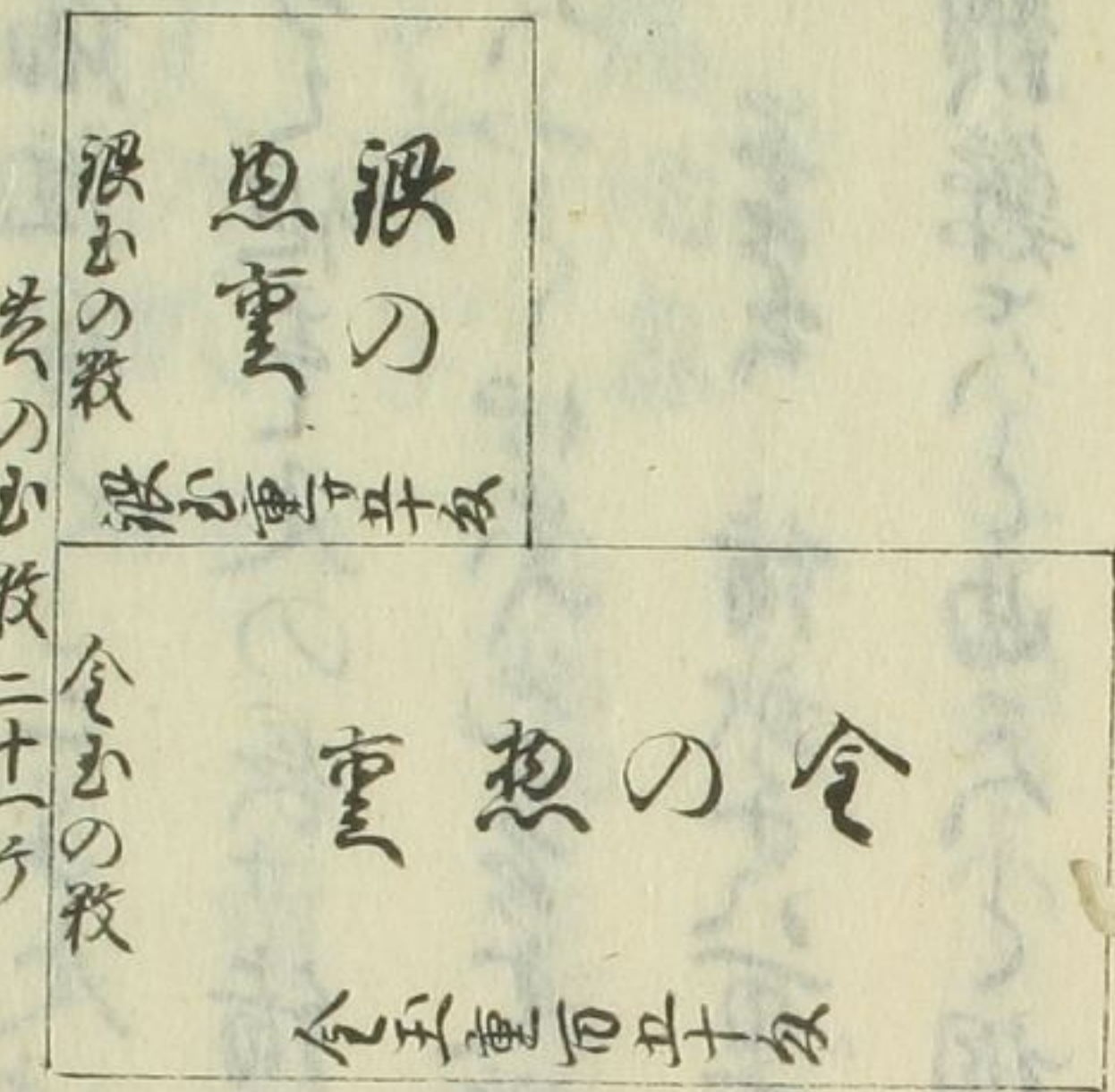
金お銀おさお武拾を圍け重廿二貫。入拾又但金お

下重廿八拾又銀お下重廿八拾又各拾程とす

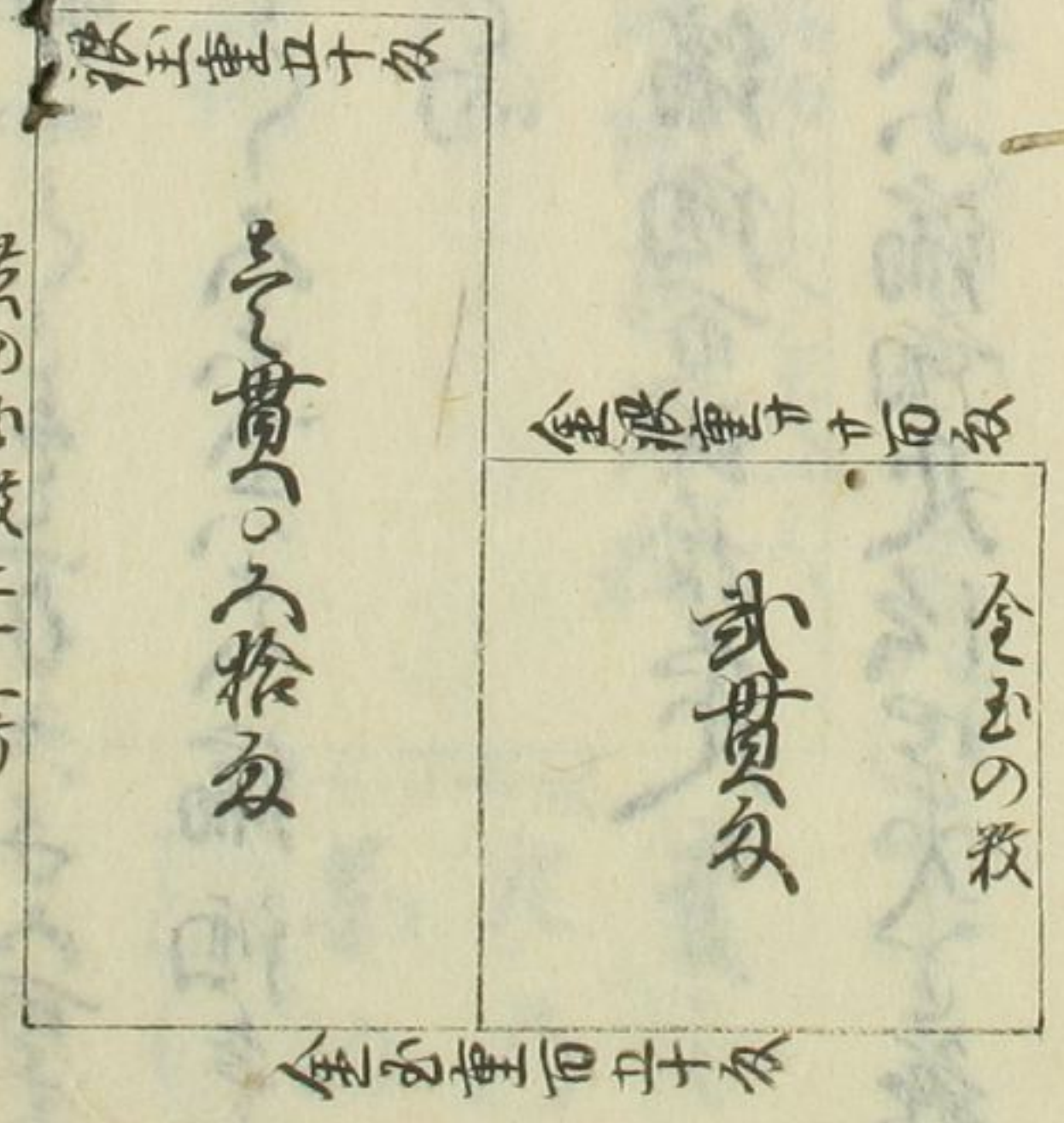
言云 金玉武拾箇 銀お拾箇

去の重廿の飛たのこ

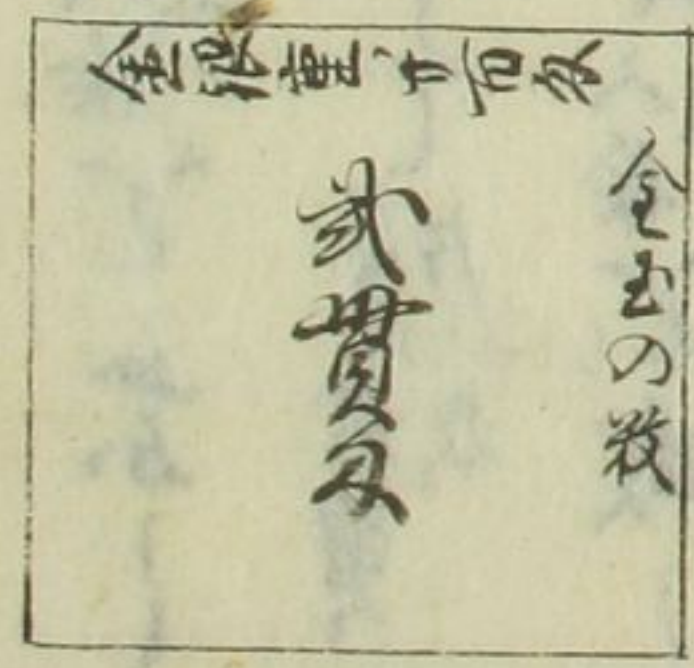
去の重の飛



変え
下け
おの
と



衣重飛おろしを去のお殺武拾お銀おの重廿六拾と糸して
 を貫とす。以て去の重廿二貫と織して
 解くと金お銀お重廿の免知の同と金
 おの殺と其飛下りおのこ



中羽云々の玉教武拾とて在浪玉の重八拾と云して
二貫。八拾多。と云ふ以て去の重二貫。八拾多。と減して解武貫と
 実と云 別十金玉重拾多の内浪玉重八拾と減して
 解と云はるは以て実と降して金玉武拾と云

緒編細今くこ子丈け長廿三と云くそ万六子六百丈
 才らと但を丈の長廿緒と解と云く入丈六尺編細を
 由天少くは丈也各丈教の程と云

緒或子八百七拾五止 編細百武拾五丈

け預解八と由天と相混と故小編細丈は尺丈と解

小通してこ二丈或八と志く解と云ふと九の長一

緒編細惣

長を万六子

六百丈の形

右惣長を

万六子六百

丈の重解

緒編細を丈尺或丈尺
緒を丈六丈六尺

緒の惣尺教

緒編細を丈三丈二尺
 編細惣尺教

要之
 凡乃
 各の
 一と

想文教

緒編細を丈二丈五尺

想文教

緒編細を丈尺二丈四尺

け長廿六子
 九百丈

け長廿九子
 六百丈

緒編細を丈二丈五尺

緒を丈六丈六尺

右変形小くまゝ編細を丈の長十餘或は丈小の丈
 教二子と家して九子と百丈と七拾と六拾と五拾と四拾と三拾と二拾と一拾と
 して解百丈九子と結編細を丈
 の長廿の長の周結の丈教と
 と下乃各のこゝ

結編細を丈二丈八寸

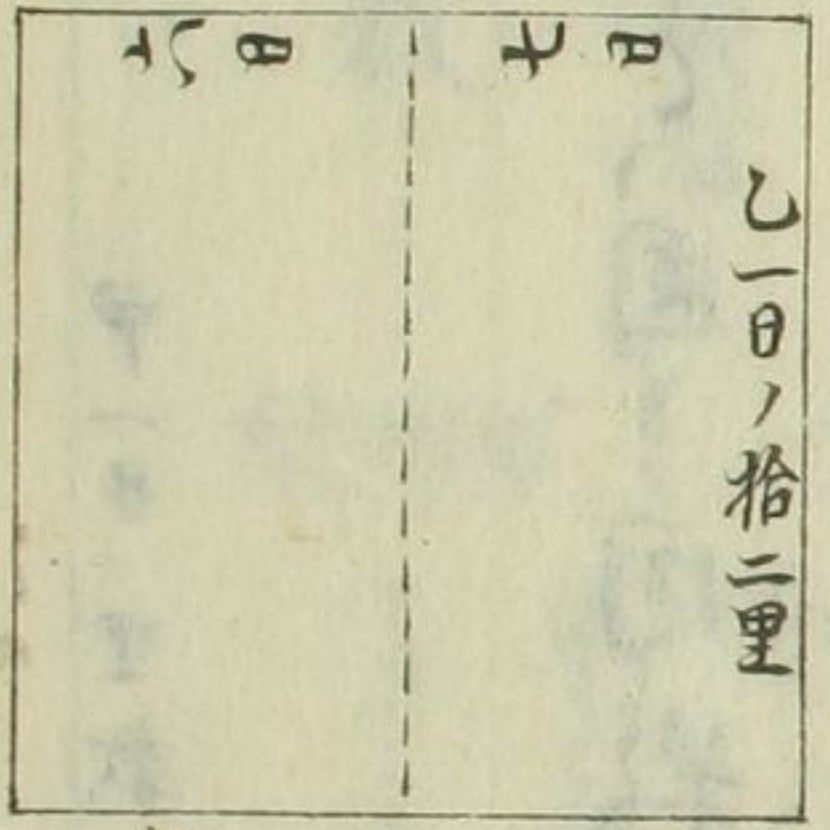
け長廿六子
九百丈

中術云編細丈法八寸と定法八分と家して餘三丈
 と結編細丈法と八分と五の丈教二子と家して
 て九子と百丈と結編細丈法と八分と五の丈教二子と家して
 と家して別小編細の丈法と三丈と八寸と結の丈

法八丈と減して解三丈八寸と法と八分と五と家して除く
 結乃丈教七拾と六拾と五拾と四拾と三拾と二拾と一拾と

甲しの人有し是日小行と拾或里七日以前小行
 といて甲を今日行はして二日少く延及ぶに甲
 一日の行里教何程と問
 答云 甲日小行と或拾二里

し小依く結
 想里教の形

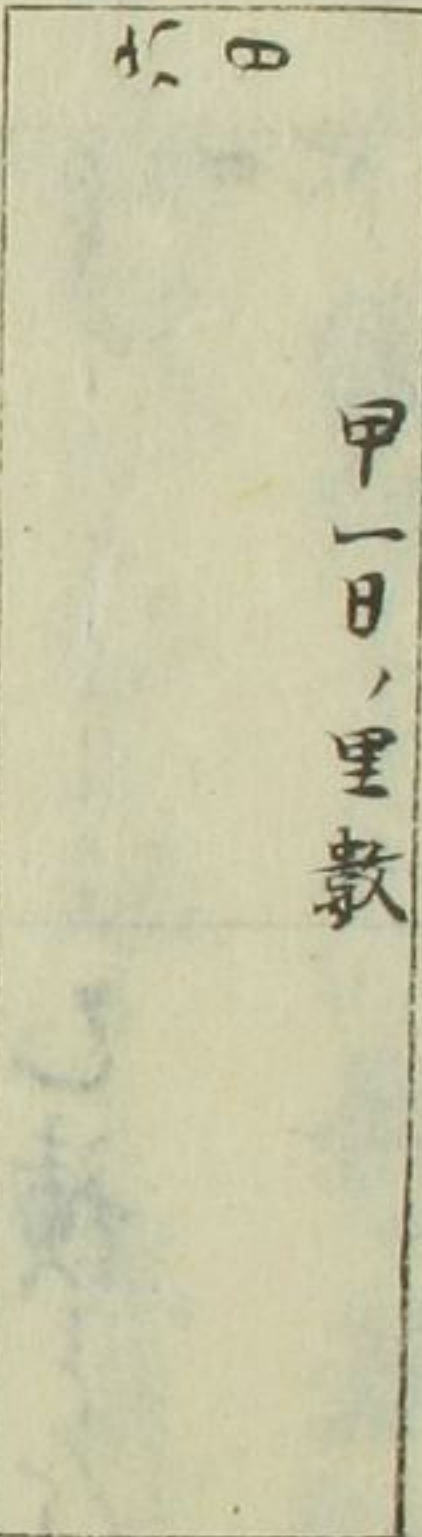


乙積とん

甲小積と坊

甲一日ノ里敷

惣里敷の形



甲積と坊

右甲積と乙積と一固り同敷る故小乙積と求
く所甲積と見く後の日敷小除く甲まじりの行里
殺と坊

本洲之前の日敷七と後の日敷六と倍く日拾と坊

乙一日の行里拾と云して百八拾と坊後の日敷六小

除く甲の日小拾と坊

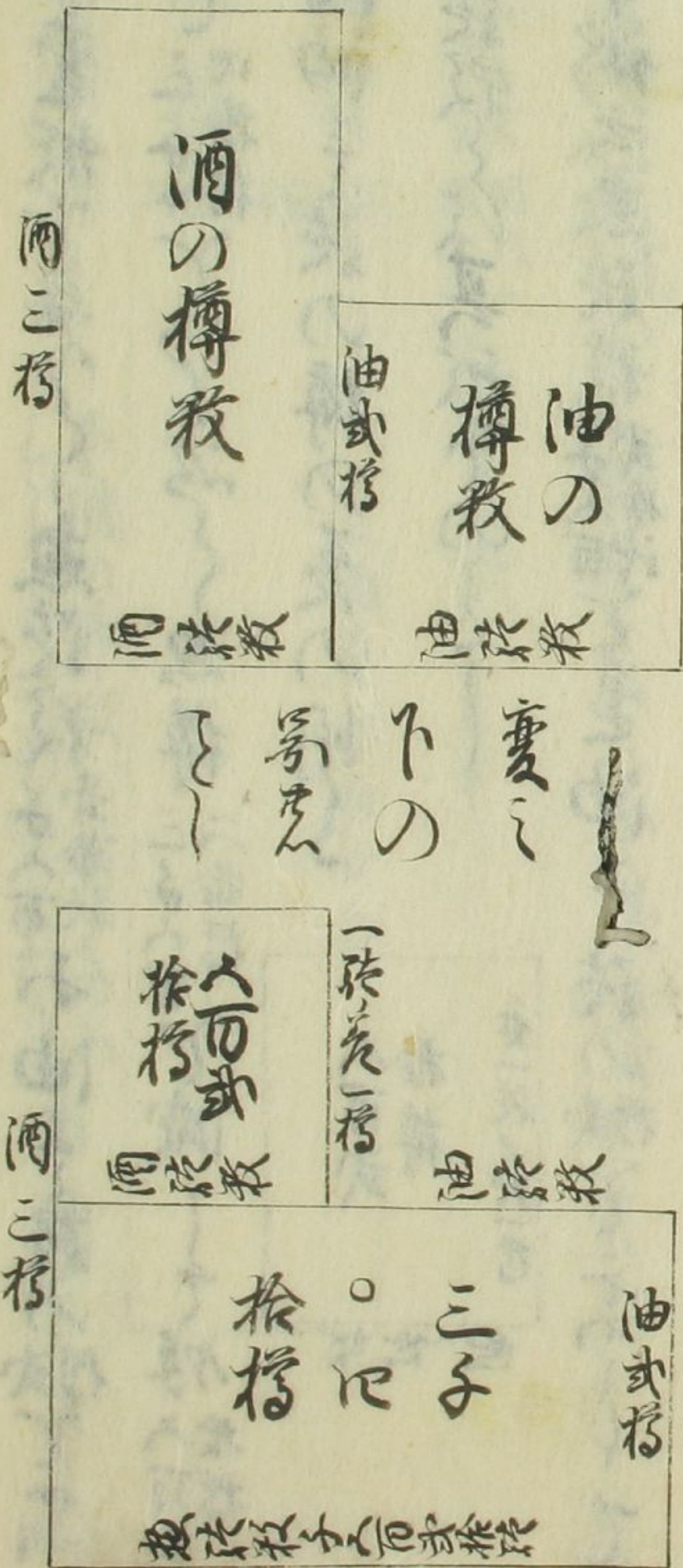
酒油合く子入百武拾坊は坊子入百六拾坊酒

兵と結二坊油兵と結武樽方り酒油各坊殺
坊積と坊

酒入百武拾坊の油子坊

惣樽殺の形と見ると九乃と

惣樽殺の形



木の葉飛と見しく惣粒子六百油拾を粒の拾と系
 して子六百とゆらゆら惣梅子六百と減して拾
 と油を粒の梅の葉の同

六百式
拾梅
各一粒二拾

酒の粒粒と見其形下の拾

本形云惣粒子六百油拾を粒の拾と系して

子六百とゆらゆら惣梅子六百と減して拾

と系して 別おを粒の酒拾の内を粒の油拾と

減して拾とゆらゆら惣梅子六百と減して拾とゆらゆら酒の粒粒

六百式
拾梅

まき斗拾式々の上酒を斗拾おを斗拾に
 々の下酒と交拾平均を斗拾九々お拾と記
 交拾下酒何種と向

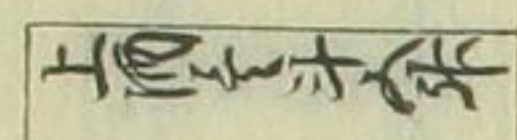
まき斗 下酒九斗

先上酒拾斗拾お上酒を斗拾の式拾と系して上

酒の代銀拾とゆらゆらたの拾

上酒代 上酒を斗拾式

銀の形

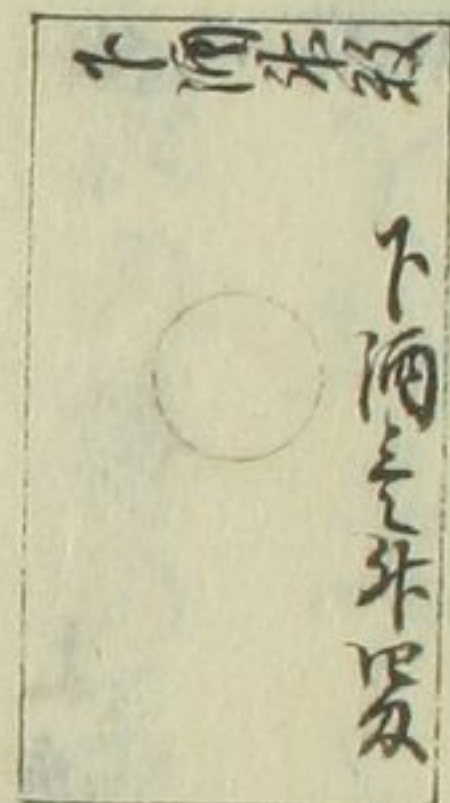


入下酒の斗拾お拾下酒の斗拾と有るお下酒を斗拾の

代銀をよまして下酒の代銀と見たのこゝ

下酒代

浪の形



右上下酒の代銀をよまして見たのこゝ

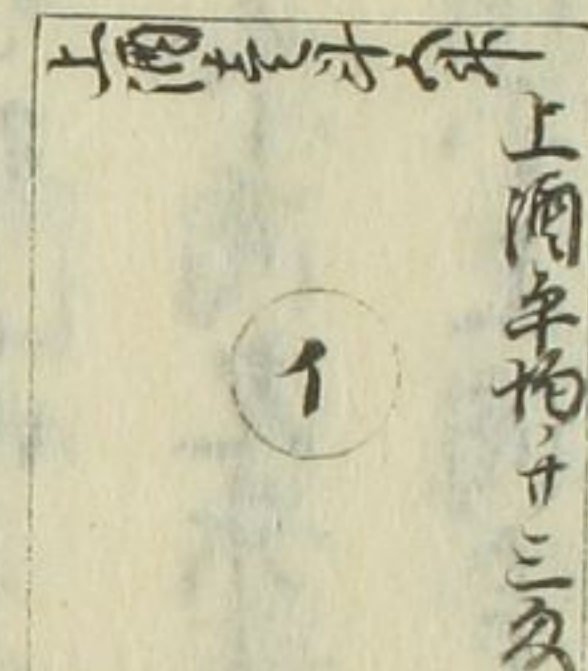
各々を米の

代をよま

つる魚代

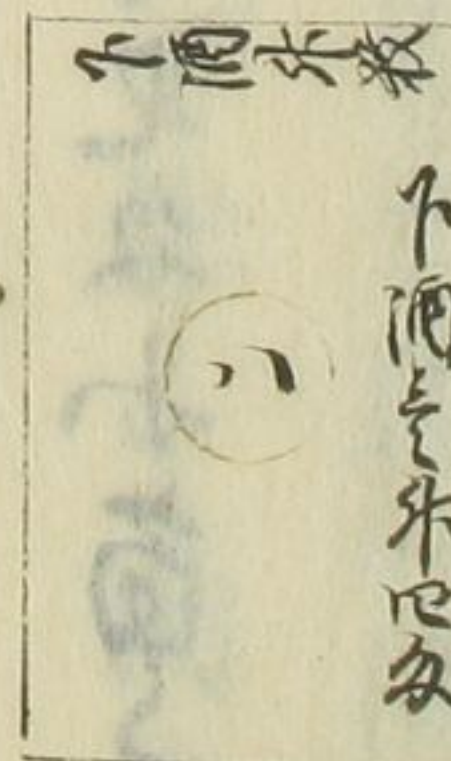
浪の形

又平均を米よまして見た浪とつる魚代のこゝ



平均を米拾貳文

0



下酒を米拾貳文

1

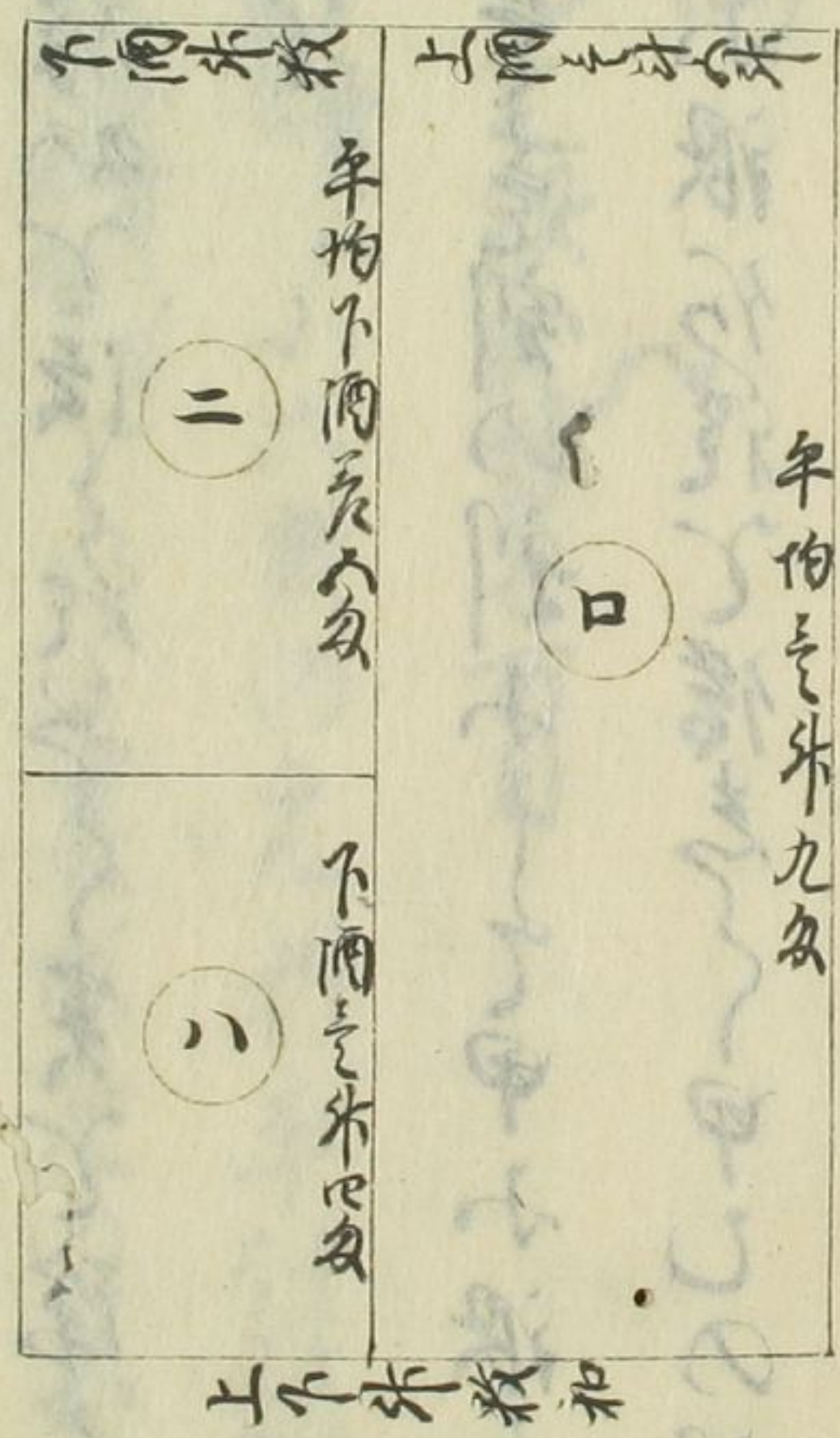
最長

平均を米

の代銀を

よまして

浪の形



平均を米九文

平均下酒を六文

下酒を米拾貳文

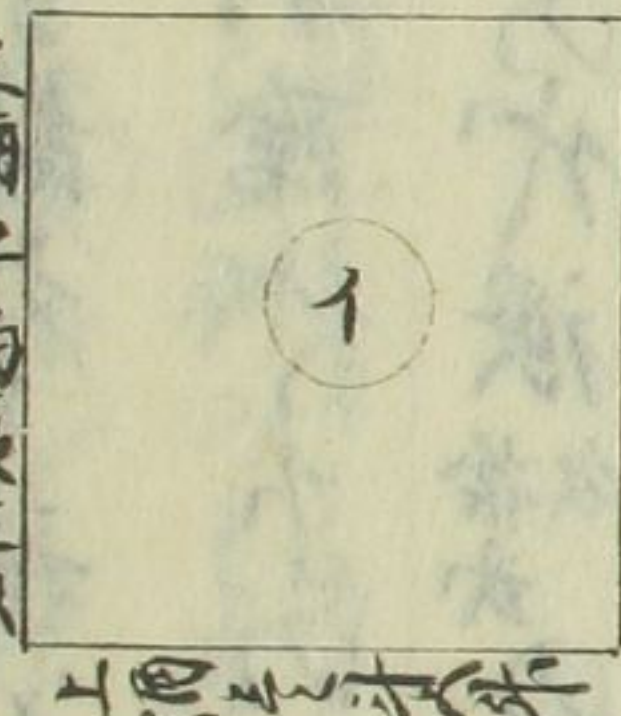
右をよまして積圓り同形をよまして見た浪の円口積ハ積

と減して解一積と後部の円口積ハ積と減して

解二積とも亦必

同形をよまして浪

の下のこゝ



上酒平均十三文



平均下酒を六文

右一積二積同殺す。故一積と来く所二積と視く
平均と下との差を小除く下の外殺と也。

中洲の上酒を外拾貳の代浪拾貳の内平均を外拾貳の代浪
知と減して餘を小上酒拾貳と云して拾貳と也。実

と云 別小平均を外拾貳の代浪拾貳の下酒を外拾貳の代浪
正と減して餘を小上酒拾貳と云して拾貳と也。実
外殺和と也。

甲を二割乙を三割の利ありて甲小浪を費八百
と借とし小浪外程と借志く甲乙の利平均と

割小當ると也

云云 乙を浪式費七百目

乙甲の乙浪拾貳の費八百 小六割の乙利率拾貳と云
て甲の乙利拾貳と也。其形尤の若乃出と

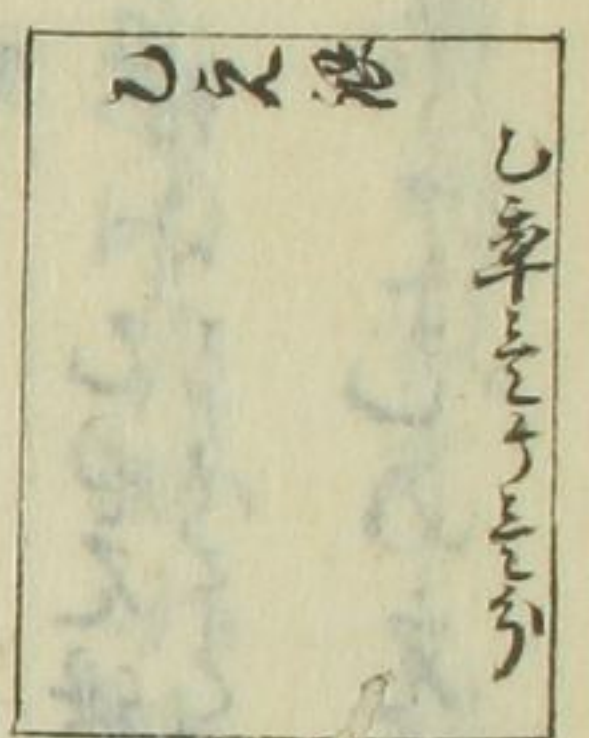
甲乙利

和の形

甲率拾貳と云云
乙率拾貳と云云
和の形

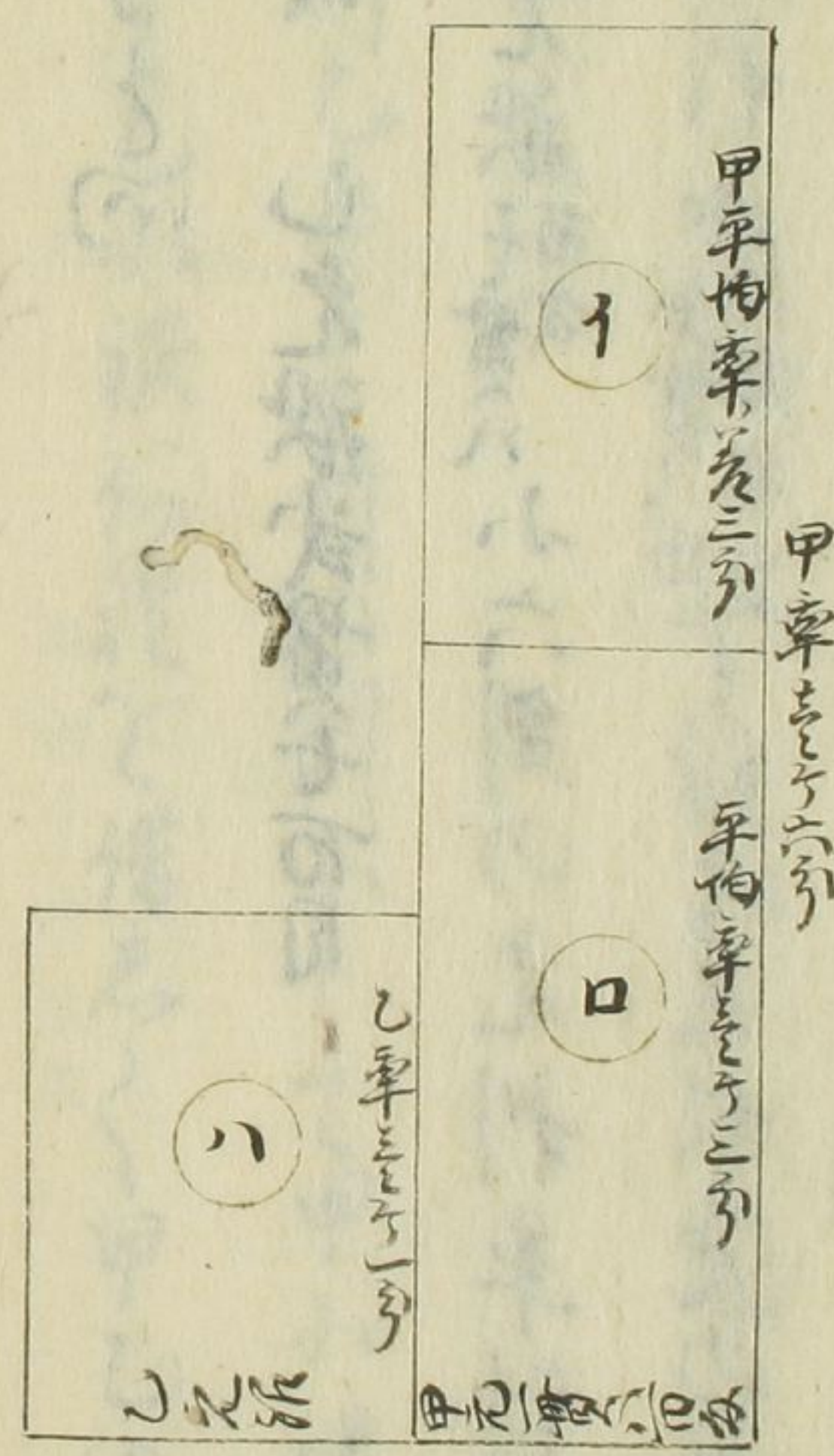
又乙の乙浪拾貳の費八百 乙の乙利率拾貳と云
て乙の乙利拾貳と也。其形尤の若乃出と

しえ利
和の形



甲のえ利和としのえ利和と合々甲しえ利合々
浪と合々甲しえ利和と合々平均二割小借とえ利
の和と同程たのこ

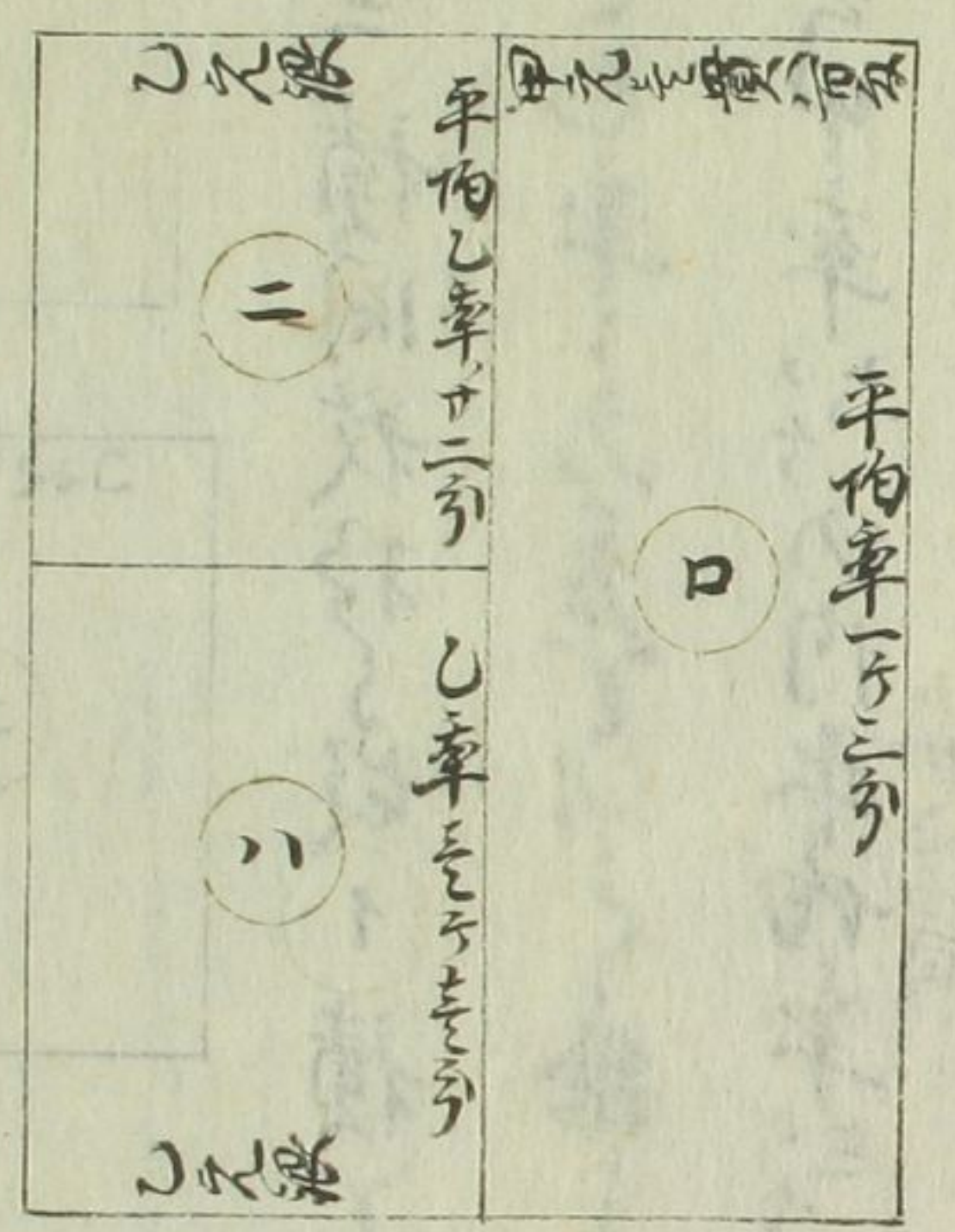
甲しえ利
合々浪
の形



前積
と合

別小甲しえ浪和と二割のえ浪率と合々して平
均二割小借とえ利の和と合々前積の甲しえ利合と
同程と合々たのこ

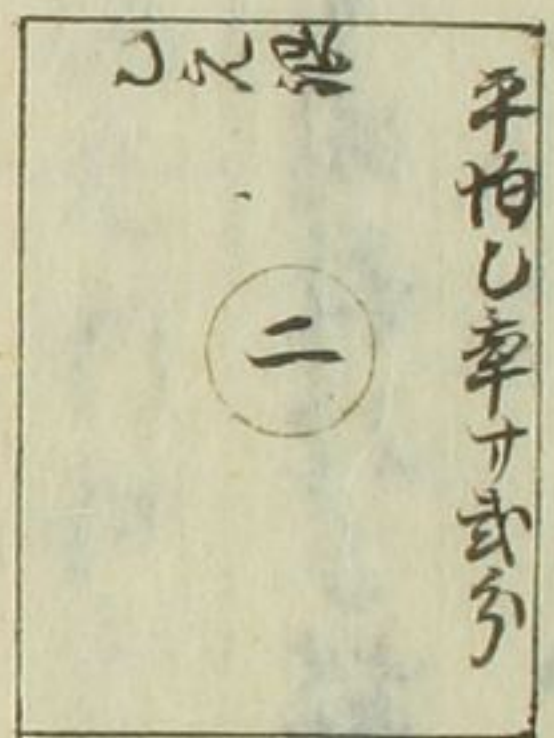
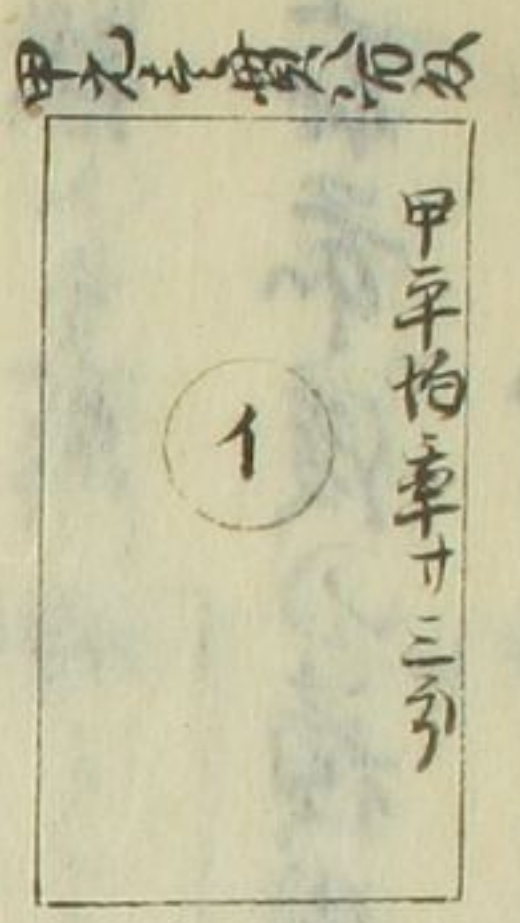
平均の
え利合
合々浪
浪の形



後積と合

右最後の積固り同程と合々前積の内口積と合々
積と減して後積と合々後積の内口積と減して

て解二積とも平均同数なりとす



右イ積二積同数なり故イ積と来く即ニ積と見
て平均とし率とを互に以て除くは元来平均なり

本洲云甲率六分の内平均率三と減して残り三と甲

元来平均なり小宗として平均とす実々ん 別平均

率三の内し率一と減して解二と法を以て実々を除

くし元来平均なりとす



